

SNC-RH124/RS46N/RS46P/RS44N/RS44P
SNC-RH164/RS86N/RS86P/RS84N/RS84P
リリースノート

Ver. 1.87

2017/4/25

Sony Corporation

Release Note

変更履歴

#	リリース日	バージョン	変更内容及び、コメント
1	2009/09/14	1.01	初回リリース
2	2009/09/30	1.02	Bug Fix 「カメラ妨害検知のアラームについて」「VMF 機能について」内容追加 「改善した問題点について」追加
3	2009/10/15	1.03	#本バージョンは、Encoder シリーズのみリリース - PoE モデル SNT-EX101E 新機種追加対応 - 中国仕向対応
4	2009/10/26	1.03.01	#本バージョンは、Encoder シリーズのみリリース。 Ver. 1.03 のバグ対策バージョン
5	2009/11/09	1.04	Bug Fix 「バージョンアップについて」追加 Ver. 1.04 で改善した問題点を記述。
6	2009/12/15	1.06	Bug Fix Ver. 1.06 で改善した問題点を記述。
7	2010/04/27	1.10.01	・ 新機能追加、機能改善を追加。 ・ 対策した問題点、既知の問題点更新
8	2010/06/11	1.10.02	#本バージョンは、SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P SNC-RS86N/RS86P/RS84N/RS84P のみリリース Bug Fix 「CF カードスロットに CF カードを挿入した状態で 正常に起動しない問題」対応
9	2010/08/27	1.22	・ 新機能追加、機能改善を追加。 ・ 対策した問題点、既知の問題点更新
10	2010/09/17	1.25	Bug Fix
11	2010/12/20	1.30	・新機能、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点更新
12	2011/03/04	1.31	・Bug Fix ・「その他、機能について」の「EdgeStorage」を修正
13	2011/04/28	1.34	・Bug Fix
14	2011/08/22	1.50	・新機能を追加、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点を更新
15	2012/1/20	1.61	改善した問題点を追加
16	2012/5/28	同上	リリースノート記載内容のみの変更 ・ 「2. ファームウェアアップグレード」で SNC toolbox バージョンの更新 ・ 既知の問題点追加(17.8)
17	2012/5/31	1.73	新機能を追加、機能改善を追加
18	2012/11/05	1.76	・Ver. 1.76 の新機能および改善した問題点を追加 ・6.4、21.9 を追加
19	2013/01/31	1.78.01	Ver. 1.78.01 の新機能および改善した問題点を追加
20	2013/08/01	1.79	Ver. 1.79 の新機能および改善した問題点を追加
21	2013/09/27	1.80	Ver. 1.80 の改善した問題点を追加

Release Note

22	2014/02/27	1.82.01	Ver. 1.82.01 の新機能および改善した問題点を追加
23	2014/05/30	1.83	・1.4. ONVIF 適合検証の項を追加 ・Ver. 1.83 で改善した問題点を追加 ・既知の問題点追加(31.11.)
24	2014/06/30	1.84	・Ver. 1.84 で改善した問題点を追加 ・既知の問題点削除(31.11.)
25	2014/11/10	1.85	・Ver. 1.85 の新機能を追加
26	2016/12/22	1.86	・Ver. 1.86 の新機能を追加 ・Ver. 1.86 で改善した問題点を追加
27	2017/04/25	1.87	・Ver. 1.87 の新機能を追加

目 次

1. 本リリースバージョンについて	8
1.1. 全般について	8
1.2. 動作環境について	8
1.3. 互換性について	8
1.4. ONVIF 適合検証	9
1.5. ご注意	9
2. ファームウェアアップグレード	9
3. Ver. 1.87 の新規追加機能について	9
3.1. セキュリティの強化対応	9
4. Ver. 1.87 で改善した問題点	9
5. Ver. 1.86 の新規追加機能について	9
5.1. セキュリティの強化対応	9
5.2. ONVIF Ver. 16.07 対応	9
6. Ver. 1.86 で改善した問題点	9
7. Ver. 1.85 の新規追加機能について	9
7.1. Windows 8.1 IE11 対応	9
7.2. ONVIF Ver. 14.06 対応	10
8. Ver. 1.84 の新規追加機能について	10
9. Ver. 1.84 で改善した問題点	10
9.1. スーパーインポーズによる日付表示機能の不具合修正	10
10. Ver. 1.83 の新規追加機能について	10
11. Ver. 1.83 で改善した問題点	10
11.1. PTZ 制御 I/F の設定情報が正しく呼び出せない不具合	10
12. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について	10
12.1. ONVIF Ver. 13.06 対応	10
13. Ver. 1.82.01 で改善した問題点	10
13.1. 夏時間期間内に時刻情報が進む不具合の修正	10
13.2. ファームウェア格納メモリにおけるデータエラー訂正の能力強化	10
14. Ver. 1.80 の新規追加機能について	11
15. Ver. 1.80 で改善した問題点	11
15.1. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正	11
16. Ver. 1.79 の新規追加機能について	11
16.1. Windows 8 IE10 対応	11
16.2. ONVIF Ver. 12.12 対応	11
16.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能	11
16.4. カメラ動作モード選択の GUI 対応 (SNC-RH124/RH164)	11
17. Ver. 1.79 で改善した問題点	11
17.1. ONVIF コマンドにおける TILT 位置設定がずれてしまう不具合の修正	11
17.2. ONVIF における音声のみの Profile 対応	12
17.3. ONVIF の Imaging Service における不具合修正	12
17.4. ONVIF において Continuous Move を行うと Stream が途切れる不具合の修正	12
17.5. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正	12
17.6. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正	12

17.7.	ONVIF における Video Encoder Configuration 対応	12
17.8.	Edge Storage の記録性能の改善	12
17.9.	RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加	13
18.	Ver. 1.78.01 の新規追加機能について	13
18.1.	G.726 の RFC3551 フォーマット対応	13
18.2.	ONVIF Profile S 対応	14
19.	Ver. 1.78.01 で改善した問題点	14
19.1.	時刻変更時の Edge Storage	14
19.2.	ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定	14
19.3.	チルトずれへの耐性向上 (SNC-RH164/RS86N/RS86P/RS84N/RS84P)	14
19.4.	SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善	14
19.5.	MPEG-4 の SDP 修正	14
19.6.	映像2の設定情報が呼び出しできない問題	14
20.	Ver. 1.76 の新規追加機能について	14
20.1.	CGI コマンドによる WS-Discovery 設定	14
21.	Ver. 1.76 で改善した問題点	15
21.1.	他社クライアントソフトとの接続性改善	15
21.2.	他社クライアントソフトからのプリセット登録問題	15
21.3.	SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題	15
21.4.	動体検知中に alarmdata.cgi が非検知を通知する問題	15
21.5.	Full Duplex 通信でのスループット低下	15
21.6.	マルチキャスト配信時の応答性改善	15
21.7.	ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答	15
22.	Ver. 1.73 の新規追加機能について	15
22.1.	サポートするブラウザ	15
22.2.	映像別のマルチキャストアドレス設定	15
22.3.	シリアル経由での Pelco-D プロトコルによるズーム動作速度設定	16
23.	Ver. 1.73 で改善した問題点	16
23.1.	マルチキャストアドレスのデフォルト値	16
23.2.	ONVIF プロトコル接続時のズーム動作不具合	16
23.3.	ONVIF プロトコル接続時の応答メッセージ不具合	16
23.4.	RtpExpire 設定値の反映	16
24.	Ver. 1.61 で改善した問題点	16
24.1.	ビデオコーデックモード設定改善	16
24.2.	Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合	17
24.3.	Smartphone viewer のストリーム受信不具合	17
24.4.	JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正	17
24.5.	Audio upload 認証エラー時の再接続不具合	17
24.6.	Edge Storage 再生不具合	17
24.7.	連続 PTZ 操作後の動作不具合	17
25.	Ver. 1.50 の主な新規追加機能について	17
25.1.	NTCIP 対応	17
25.2.	Connection List	18
25.3.	Smartphone viewer	18
26.	Ver. 1.50 で改善した問題点	18

26.1.	シリアル経由で Pan/Tilt 動作させた時の追従性	18
26.2.	シリアル経由での Pan/Tilt 動作速度	18
26.3.	シリアル経由でのプリセット登録	18
26.4.	SNMP 関連の設定保存	18
27.	Ver. 1.34 で改善した問題点	19
27.1.	Edge Storage	19
27.2.	アラームバッファ	19
27.3.	ストリーミング	19
28.	Ver. 1.31 で改善した問題点	20
28.1.	動体検知	20
28.2.	SNMP	20
28.3.	イベントファイル	20
28.4.	エリアズーム	20
29.	Ver. 1.30 の主な新規追加機能について	21
29.1.	言語	21
29.2.	サポートする OS, ブラウザ	21
29.3.	ONVIF	21
29.4.	画像サイズ	21
29.5.	レターボックス	21
29.6.	Edge Storage	21
29.7.	フレームレートの追加	21
30.	Ver. 1.3 で変更／改善された機能について	21
30.1.	プリセット名	21
31.	Ver. 1.25 の主な新規追加機能について	22
31.1.	RTSP Multicast ストリーミング	22
32.	Ver. 1.22 の主な新規追加機能について	22
32.1.	言語	22
32.2.	HPoE LLDP サポート (SNC-RH124/RS46N/RS46P/RS44N/RS44P)	22
32.3.	映像・駆動系リフレッシュ機能	22
33.	Ver. 1.22 で変更／改善された機能について	22
33.1.	プライバシーマスキングの改善	22
33.2.	ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ	22
33.3.	画像サイズの追加 (SNC-RH124/RH164)	22
34.	その他、機能について	23
34.1.	Audio Upload Tool	23
34.2.	動体検知	23
34.3.	カメラ妨害検知のアラーム	23
34.4.	VMF	23
34.5.	プリセット位置のサムネイル表示	23
34.6.	SSL	23
34.7.	RTSP ストリーミング	24
34.8.	Edge Storage	24
34.9.	シャドウツアー設定	24
35.	Ver. 1.30 で改善した問題点	25
35.1.	PTZ 制御 I/F	25

35.2.	H.264 での画乱れ	25
36.	Ver. 1.25 で改善した問題点	25
36.1.	時刻変更	25
36.2.	Edge Storage	25
36.3.	工場出荷設定	25
36.4.	デイ/ナイト自動モード	25
36.5.	プリセットツアー	25
37.	Ver. 1.22 で改善した問題点	26
37.1.	ストリーミング以外の静止画 (JPEG) の画質設定	26
37.2.	MPEG-4 でのビットレート	26
37.3.	動体検知領域	26
37.4.	RTSP.....	26
37.5.	プリセットツアー	26
38.	既知の問題点について	27
38.1.	IPv6 DHCPv6 について	27
38.2.	Safari について	27
38.3.	Edge Storage	27
38.4.	RTSP.....	27
38.5.	SNC video player	27
38.6.	Smartphone viewer での長時間再生	27
38.7.	Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下	27
38.8.	バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox によるパノラマ画像の作成	27
38.9.	バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード	28
38.10.	プリセット移動後の動体検知停止に関して	28

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本バージョンは、Ver. 1.87 になります。

以下の機種が対象となります。

- SNC-RH124 (SYM, CN)
- SNC-RS46N (UCJ)
- SNC-RS46P(CE, CN)
- SNC-RS44N (UCJ)
- SNC-RS44P(CE, CN)
- SNC-RH164 (SYM, CN)
- SNC-RS86N (UCJ)
- SNC-RS86P(CE, CN)
- SNC-RS84N (UCJ)
- SNC-RS84P(CE, CN)

詳細内容については、本リリースノートで説明しています。

1.2. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
 - Windows 7 (32bit 版、64 bit 版)
 - Windows 8.1 Pro (32bit 版、64 bit 版)
 - 動作検証済みエディション:
 - Windows 7 : Ultimate、Professional
 - Windows 8.1 : Pro
 - Microsoft DirectX 9.0c 以上
- Webブラウザ
 - Microsoft Internet Explorer Ver. 11.0 (Windows 8.1 デスクトップモードのみ対応)
 - Firefox Ver. 50.1 (Plug-in free viewer のみ対応)
 - Google Chrome Ver. 55.0 (Plug-in free viewer のみ対応)
- CPU
 - Intel Pentium 4、2.4 GHz 以上、またはIntel Core 2 Duo、1.8 GHz 以上 (SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P/RS86N/RS86P/RS84N/RS84P)
 - Intel Core 2 Duo、2 GHz 以上 (SNC-RH124/RH164)
- メモリ
 - 1 GB 以上
- ディスプレイ
 - 1280 × 1024 画素以上 (SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P/RS86N/RS86P/RS84N/RS84P)
 - 1600 × 1200 画素以上 (SNC-RH124/RH164)

1.3. 互換性について

CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットに

おける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して Ver. 1.86 との互換性があります。

1.4. ONVIF 適合検証

本ファームウェアはONVIF Device Test Tool version 17.01でONVIF適合検証を行っています。

1.5. ご注意

RealShot Manager Advanced, RealShot Manager Lite または NSR-1200/1100/1050H と接続してお使いの場合は、Ver. 1.3.1 以前のバージョンを使用すると問題がありますので、Ver. 1.3.2 以降を使用してください。

2. ファームウェアアップグレード

ファームウェアのアップグレードを行う場合は、SNC toolbox (Ver. 1.3.8.0 以降) を使用してください。また、使用方法に関してはユーザーガイドの “SNC toolbox を使う” を参照してください。

3. Ver. 1.87 の新規追加機能について

3.1. セキュリティの強化対応

【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください

4. Ver. 1.87 で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

5. Ver. 1.86 の新規追加機能について

5.1. セキュリティの強化対応

5.2. ONVIF Ver. 16.07 対応

ONVIF Device Test Tool Version 16.07 で適合検証を行っています。

6. Ver. 1.86 で改善した問題点

カメラ電源投入時に、ごくまれに起動に失敗することがある問題がありましたので、修正しました。
(Ver 1.01 からの問題)

7. Ver. 1.85 の新規追加機能について

7.1. Windows 8.1 IE11 対応

Windows 8.1 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer11 (IE11) に対応しました。また、Windows 8.1 のスタート画面から起動された IE11、および Windows 7 版の IE11 での動作確認は行っておりません。

7.2. ONVIF Ver. 14.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 14.06で適合検証を行っています。

8. Ver. 1.84 の新規追加機能について

ありません。

9. Ver. 1.84 で改善した問題点

9.1. スーパーインポーズによる日付表示機能の不具合修正

スーパーインポーズによる日付表示機能において、下1桁に4と8を含む年をすべて閏年と判定していた不具合を修正しました。具体的には2014年、2018年、2034年、2038年および以降の不具合発生年において、2月28日の翌日を2月29日と表示し、システム設定の年月日から1日ずれてしまいます。GUIの「日付/時刻」タブでは正しく3月1日と更新されていますので、同タブにて年月日を更新するとスーパーインポーズ表示を修正することは可能です。

(Ver. 1.01 からの問題)

10. Ver. 1.83 の新規追加機能について

ありません。

11. Ver. 1.83 で改善した問題点

11.1. PTZ 制御 I/F の設定情報が正しく呼び出せない不具合

ファイルに保存されたPTZ制御I/Fメニューの設定情報の呼び出しを行っても反映されない不具合がありましたので、修正しました。

(Ver. 1. 30 からの問題)

12. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について

12.1. ONVIF Ver. 13.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 13.06で適合検証を行っています。

13. Ver. 1.82.01 で改善した問題点

13.1. 夏時間期間内に時刻情報が進む不具合の修正

「自動的に夏時の調整をする」機能を有効にしている場合、夏時間期間内においてカメラ内の時刻情報が3日間から4日間毎に1時間ずつ進む不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver. 1. 01 からの問題)

13.2. ファームウェア格納メモリにおけるデータエラー訂正の能力強化

メモリの一部の領域でデータが壊れた場合に、電源をOFF/ON、もしくはリブートした後に、機器が起動しない、一部の機能が正常動作しない等の症状が発生する可能性があります。このため、エラー訂正能力を強化しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

14. Ver. 1.80 の新規追加機能について

ありません。

15. Ver. 1.80 で改善した問題点

15.1. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正

802.1x認証機能付きのPoE Hubとの接続において、起動時に802.1x認証が失敗する不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

16. Ver. 1.79 の新規追加機能について

16.1. Windows 8 IE10 対応

Windows 8 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer10 (IE10) に対応しました。また、Windows 8 のスタート画面から起動された IE10、および Windows 7 版の IE10 での動作確認は行っておりません。

16.2. ONVIF Ver. 12.12 対応

ONVIF Device Test Tool Version 12.12で適合検証を行っています。

16.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能

RTPストリームへ UserData を付加できる機能を追加しました。

CGIのカテゴリに userdata.cgi を追加し、パラメータ RTPUserData の値を on へ変更することで有効にできます。

http://ip_adr/command/userdata.cgi? RTPUserData=on

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください

16.4. カメラ動作モード選択の GUI 対応 (SNC-RH124/RH164)

従来はビデオ出力選択において、ビデオ出力時にNTSCかPALを選択する仕様となっており、IPのみが選択されていた場合は、カメラ動作モードがNTSCに選択されていました。カメラ動作モード選択をGUIへ追加することで、IPのみ(ビデオ出力 オフ)でもNTSCかPAL動作をGUIにて選択できるようになりました。

17. Ver. 1.79 で改善した問題点

17.1. ONVIF コマンドにおける TILT 位置設定がずれてしまう不具合の修正

ONVIFコマンドにてTILT位置設定を行った場合、Ver. 1.76以前の位置と異なる場所へ移動してしまいました。また、TILT位置の問い合わせに対しては従来の位置情報を返していたため、設定時と異なる値を返していました。これらの不具合を修正しました。

(Ver. 1.78.01 からの問題)

17.2. ONVIF における音声のみの Profile 対応

ONVIFにおいて音声のみのProfileが作成された場合、GetStreamUriコマンドに対してBadRequestを返していましたが、URIを返すように修正しました。

(Ver. 1.78.01 からの問題)

17.3. ONVIF の Imaging Service における不具合修正

ONVIFのImaging Serviceにおいて、最大露出時間、および最少露出時間の通知が不適切な値を用いていたため、これらの不具合を修正しました。

(Ver. 1.04 からの問題)

17.4. ONVIF において Continuous Move を行うと Stream が途切れる不具合の修正

ONVIFにおけるPTZ制御において、Continuous Moveを用いるとStreamingが途切れる不具合がありました。同処理における不具合を修正しました。

(Ver. 1.04 からの問題)

17.5. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正

ONVIFにおいて、CET-1、IDLWのタイムゾーン設定ができなかったため、修正しました。また、GMTからのオフセット時間設定もできるように修正しました。(例えば、US、CANADAは「GMT-5」のように設定できます。ただし、分、秒単位のオフセット設定は対応していません。)

(Ver. 1.04 からの問題)

17.6. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正

デフォルト値と異なるPort番号が設定されている場合、ONVIFにおけるDevice Service AddressのPort番号付与ができなかったため、変更後のPort番号を付与するように修正しました。

(Ver. 1.04 からの問題)

17.7. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応

ONVIFにおいてVideo Encoder Configurationによる映像2側の問い合わせ、および設定ができない不具合がありました。同不具合に対して、映像1に依存して決定する映像2の設定パラメータを算出し、問い合わせへの応答、および設定ができるように修正しました。

また、RTSP セッションタイムアウト設定もできるように修正しました。(PTxxHxxMxxS表記の対応、および600秒を超える場合は、最大値の600秒として設定するようにしました。)

(Ver. 1.04 からの問題)

17.8. Edge Storage の記録性能の改善

メディアへのデータ書き込みが正常に行われない場合があります。

同症状が発生した場合、メディアエラーを検知し記録が停止してしまいます。

この症状に対し、メディアへ書込むデータ形式の変更を伴う修正で対応を行いました。

(Ver1.31 からの問題)

[ご注意]

記録済みデータは新しいデータ形式へ変換することが出来ません。

本バージョンでも、メディアによっては1秒近く記録できない症状が稀に発生します。

以前のファームウェアから本バージョンにアップグレードして、引き続きEdge Storageをお使いにな

るお客様は、下記の手順に従って下さい。

- 1) Edge Storage機能とイメージメモリー機能を停止する。
- 2) メディア内の記録済みデータのバックアップを行う(後述)。
- 3) ファームウェアをアップグレードする。
- 4) メディアを本機にてフォーマットする(記録済みデータは全て消去されます)。
- 5) Edge Storage機能とイメージメモリー機能を再開する。

メディア内の記録済みデータは以下のいずれかの方法でバックアップして下さい。

- a) RTSPストリーミング可能なレコーダーで、メディア内の映像データをストリーミング再生し保存する。
- b) 本機のFTPサーバー機能をオンにし、メディア内のデータをクライアントへコピーする。※
- c) 本機の電源を切った後、メディアを本機から取り出し、メディア内のデータをコンピューター等へコピーする。※

※ b)、c) の場合、コピーした映像データ(*.mafファイル)は、SNC video playerで再生可能です。

バックアップ前にファームウェアアップグレードを行ってしまった場合には、元のファームウェアバージョンに戻してから上記手順に従って下さい。メディア内に古いデータ形式のファイルを検出した場合は、スーパーインポーズにて“FORMAT MEDIA PLEASE”と表示されます。また、システムログにおいてもフォーマットを促すメッセージが表示され、Edge Storageの再開はできません。

17.9. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加

RTSPにおけるPLAYの応答において、RTP-Infoヘッダを付加できるように修正しました。下記のCGIコマンドにおいて、RTPInfoパラメータをonすることで付加されます。(デフォルトはoffでなし。)

`http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPInfo=on`

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください

(Ver. 1.01 からの問題)

18. Ver. 1.78.01 の新規追加機能について

18.1. G.726 の RFC3551 フォーマット対応

G.726音声コーデックフォーマットを従来のITU-Tフォーマットに加え、RFC3551フォーマットにも対応しました。通常ONVIF接続時にはRFC3551フォーマットが選択されます。

次のように2つのフォーマットはストリーミング取得時のURIにより指定できます。

- ITU-Tフォーマット
`rtsp://ip_adr/media/video1`
または
`rtsp://ip_adr/media/video1?g726=itu-t`
- RFC3551フォーマット
`rtsp://ip_adr/media/video1?g726=rfc3551`

RFC3551フォーマット使用時のオーディオストリーミングポート番号は次のCGIパラメータで指定で

きます。

- ユニキャスト: RTSPUcAudioG726RfcPort (デフォルト 51004)
- マルチキャスト: RTSPMcAudioG726RfcPort (デフォルト 61004)

18.2. ONVIF Profile S 対応

ONVIF Profile Sに対応しました。ONVIF Device Test Tool version 12.06で適合検証を行っています。

19. Ver. 1.78.01 で改善した問題点

19.1. 時刻変更時の Edge Storage

夏時間などによる時刻変更が発生するとEdge Storage機能の記録が停止することがある問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

19.2. ONVIF コマンド SetImagingSettings のパラメータ設定

ONVIFコマンドSetImagingSettingsで指定するBrightness及びColorSaturationのパラメータを小数で指定すると、“HTTP/1.1 400 Bad Request”の応答が返る問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.04 からの問題)

19.3. チルトずれへの耐性向上 (SNC-RH164/RS86N/RS86P/RS84N/RS84P)

静止時の振動によるチルトずれへの耐性を向上させました。

(Ver. 1.01 からの問題)

19.4. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善

SSL有効時のストリーミング画像のフレームレートを従来よりも向上させました。

(Ver. 1.01 からの問題)

19.5. MPEG-4 の SDP 修正

RTSPで使用されるMPEG-4のSDP (Session Description Protocol)情報の最後に余分なデータ4バイトが付加されていたので削除しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

19.6. 映像2の設定情報が呼び出しできない問題

映像2の設定情報が正しく呼び出しできない場合がある問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

20. Ver. 1.76 の新規追加機能について

20.1. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定

CGIコマンドの設定によりONVIFで使用するWS-Discoveryプロトコルを作動させないように出来ます。この時、239.255.255.250宛のマルチキャストJoinメッセージは起動時に発行されません。

http://ip_addr/command/system.cgi?WsDiscovery=off

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

21. Ver. 1.76 で改善した問題点

21.1. 他社クライアントソフトとの接続性改善

Genetec製Omnicastクライアントソフトとの接続が切れてしまうことがある問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

21.2. 他社クライアントソフトからのプリセット登録問題

NICE製クライアントソフトからプリセット登録できない問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.50 からの問題)

21.3. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題

SSL有効時にalarmdata.cgiが送信されない問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

21.4. 動体検知中に alarmdata.cgi が非検知を通知する問題

動体検知中にもかかわらずalarmdata.cgiが非検知を示す0をごくまれに返す可能性がありましたので修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

21.5. Full Duplex 通信でのスループット低下

CGI コマンドによりイーサネット通信モードを 10Mbps または 100Mbps の Full Duplex 固定に設定すると、ネットワークスループットが低下する問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

21.6. マルチキャスト配信時の応答性改善

マルチキャスト配信時のCGIコマンドに対する応答性を改善しました。

(Ver. 1.01からの問題)

21.7. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答

ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration 要求に対して、“HTTP/1.1 500 Internal Server Error”の応答が返ることがありましたので修正しました。

(Ver. 1.04 からの問題)

22. Ver. 1.73 の新規追加機能について

22.1. サポートするブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver. 9.0に対応しました。

Windows 7で動作検証を行っています。

22.2. 映像別のマルチキャストアドレス設定

映像 1、映像 2、映像 3(SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P/RS86N/RS86P/RS84N/RS84P のみ)および音声ごとに個別のマルチキャストアドレスを設定および配信することを可能にしました。詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

[注意]

本機能は ActiveX viewer、設定画面、SNC toolbox からは使用できません。

22.3. シリアル経由での Pelco-D プロトコルによるズーム動作速度設定

シリアル経由でのPelco-Dプロトコルによるズーム動作速度を次のCGIコマンドで設定できるようにしました。

`http://ip_adr/command/serial.cgi?PelcoDZoomSpeed=0,1,2,3` (0:最遅、3:最速)

既定値は1です。

詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

23. Ver. 1.73 で改善した問題点

23.1. マルチキャストアドレスのデフォルト値

マルチキャスト配信機能で使用するアドレスのデフォルト値が RFC3171 で Local Network Control Block として割り当てられている 224.0.0.200 となっていましたので、これを 239.192.0.200 に変更しました。

(Ver. 1.01からの問題)

23.2. ONVIF プロトコル接続時のズーム動作不具合

ONVIFプロトコル接続時のズーム操作で、TELE移動させた後に再度TELE移動させようとした場合、またはWIDE移動させた後に再度WIDE移動させようとした場合に動作しない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.04からの問題)

23.3. ONVIF プロトコル接続時の応答メッセージ不具合

GetVideoSourceConfigurationOptionsRequestでConfig,Profileの指定無しの時

GetVideoSourceConfigurationOptionsResponseにVideoSourceTokenAvailableフィールドが無い不具合を修正しました。

(Ver. 1.04からの問題)

23.4. RtpExpire 設定値の反映

CGIパラメータRtpExpireの値を変更した場合、リブートを伴わないと反映されないという問題がありましたので修正しました。

この修正により、リブートは不要となり、RtpExpireの値を変更した際に反映されるようになります。

(Ver. 1.01 からの問題)

24. Ver. 1.61 で改善した問題点

24.1. ビデオコーデックモード設定改善

ビデオコーデックモードのフレームモードまたはビットレートの設定が行われた際に、変更が反映されるまでに約3秒間程度要していましたが、今回の改善により変更反映時間を約1/10程度に短縮しました。

(Ver. 1.01からの問題)

24.2. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合

Smartphone viewer使用時、Landscape modeで表示した際に画面下部が表示されない問題がありましたので、修正しました。アスペクト比を保持したまま表示領域内に全画面を表示しますので、左右に黒帯が表示されることがあります。

(Ver. 1.50からの問題)

24.3. Smartphone viewer のストリーム受信不具合

Smartphone viewer使用時、ネットワークメニューの「HTTPポート番号」を既定値の80番以外に変更するとストリームを受信出来ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.50からの問題)

24.4. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正

JPEGのRTPパケットヘッダ部のFragment Offset値がRFC規定値と異なっている問題がありましたので、修正しました。

互換性保持のために従来と同じ値で使いたいクライアントのために次のCGIコマンドを用意しました。

http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPMJPEGOOffset=off

詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

(Ver. 1.01からの問題)

24.5. Audio upload 認証エラー時の再接続不具合

Audio uploadの接続時に認証エラーが発生してもカメラ側からコネクションをクローズしていなかったため、クライアントが同じコネクションを使用して再接続する場合に失敗していた問題をカメラ側からコネクションをクローズするようにして修正しました。

なお、SNC audio upload toolではクライアントからコネクションを切断しているため従来よりこの問題は発生しません。

(Ver. 1.01からの問題)

24.6. Edge Storage 再生不具合

Edge Storageで指定された開始時刻と停止時刻によっては再生出来ないことがある問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30からの問題)

24.7. 連続 PTZ 操作後の動作不具合

Genetec製Omnicastクライアントソフトから短い間隔で連続してPTZ操作を行うと、動作がおかしくなる問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01からの問題)

25. Ver. 1.50 の主な新規追加機能について

25.1. NTCIP 対応

NTCIP (National Transportation Communications for ITS protocol) は、米国で標準化されている交通監視用のプロトコルです。現在米国VidSys社製のVidShieldソフトからプリセット登録及び呼び出し、PTZ制御等が行えます。

管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

25.2. Connection List

ストリーミングの配信先に関する情報を取得するための機能です。どのクライアントがストリーミングを受信しているかを知るために使用します。

ストリーミング配信先のIPアドレス及びポート番号、HTTPあるいはUDP等の使用されているプロトコル、H.264等のメディアの種類等の詳細情報をセッション毎に取得することが出来ます。

CGIコマンドで対応しています。管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

25.3. Smartphone viewer

スマートフォンからアクセスして、映像を表示したり、PTZ操作をするためのスマートフォン用のビューアーです。

本機能のユーザーマニュアル及びサポート情報は下記のサイトに置いてありますので、参照して下さい。

<http://www.sony.net/ipela/snc>

26. Ver. 1.50 で改善した問題点

26.1. シリアル経由で Pan/Tilt 動作させた時の追従性

シリアル経由で Pan/Tilt 操作を行う場合に、ジョイスティックなどで制御した時の追従性が悪かったので、改善しました。

(Ver. 1.10.02 からの問題)

26.2. シリアル経由での Pan/Tilt 動作速度

シリアル経由で Pan/Tilt 操作を Pelco-D プロトコルを用いて行う場合に、Pan と Tilt の速度はそれぞれ独立に設定できますが、Tilt の速度が正しく設定できていませんでしたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

26.3. シリアル経由でのプリセット登録

シリアル経由でプリセット登録を Pelco-D プロトコルまたは VISCA プロトコルを用いて行う場合に、プリセット名がブランクになっていました。この状態でバージョンアップを行いますと、プリセットが消えてしまいます。シリアル経由では、プリセット登録時に名前を登録できないため、プリセットの番号が自動的にプリセット名になるよう改善しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

26.4. SNMP 関連の設定保存

バージョンアップを行った時や設定呼び出しを行った時にSNMP関連の設定が保存されない場合がありますので修正しました。Ver. 1.50より以前のバージョンからバージョンアップする場合やVer. 1.50より以前のバージョンで設定保存を行ったファイルから設定呼び出しを行う場合は、必要なSNMP関連の設定値は控えておき、バージョンアップまたは設定呼び出し後に再設定してください。

(Ver. 1.01からの問題)

27. Ver. 1.34 で改善した問題点

27.1. Edge Storage

上書き設定がONのときに、500個のエントリーがある場合、古いエントリーから上書きされない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

RTP/RTSP/HTTP で再生できない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

ストリーミングのタイムスタンプに誤りがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

Range パラメータの小数点以下が切り捨てられる問題がありましたので、修正しました。

(Ver1.30 からの問題)

27.2. アラームバッファ

アラームバッファを使用する際、ポスト時間とイベント発生が重なるとデータを破棄してしまう問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

27.3. ストリーミング

Multicast のストリーム取得要求が連続で行われると失敗することがあるという問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

28. Ver. 1.31 で改善した問題点

28.1. 動体検知

動体検知中にパン・チルト動作を繰り返すと、動体検知が動作しなくなることがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

28.2. SNMP

SNMP の CGI コマンドが動かない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

28.3. イベントファイル

イベントファイルに異常なフレームが存在する問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.22 からの問題)

28.4. エリアズーム

画像サイズを 800x600 に設定し、カメラの操作モードを「エリアズーム」にして、カメラ操作を行うと、操作できなくなる問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.30 からの問題)

29. Ver. 1.30 の主な新規追加機能について

29.1. 言語

ポルトガル語が使用できるようになりました。

29.2. サポートする OS, ブラウザ

64bit 版 Windows 7 に対応しました。

動作検証済みエディション

- Windows 7 Professional

29.3. ONVIF

ONVIF Core Spec Version 1.02 に対応しました。

29.4. 画像サイズ

画像サイズに、800×600 を追加しました。

29.5. レターボックス

レターボックス機能を追加しました。

レターボックス機能は、入力した映像の縦横比と、配信される画像の縦横比が違う場合、縦横比を保持した状態でリサイズを行う機能です。

29.6. Edge Storage

Edge Storage 機能に以下の機能が追加されました

- 時刻のミリ秒対応
録画開始、停止時間がミリ秒単位で表現されます。
- Search cgi で録画データ(1 Stream)の Volume 表示
録画データのサイズを kbyte 単位で表現します。
- Search cgi で録画データ(1 Stream)の On-Recording 表示
現在録画中のデータと録画済みのデータが、それぞれ Recording と Recorded として識別されます。

29.7. フレームレートの追加

下記のフレームレートを追加しました。

- 12fps
- 16fps

30. Ver. 1.3 で変更／改善された機能について

30.1. プリセット名

プリセット名に全角文字を使用出来るようになりました。

ただし、スーパーインポーズでは、全角文字は表示されません。

31. Ver. 1.25 の主な新規追加機能について

31.1. RTSP Multicast ストリーミング

RTSP を使用した Multicast ストリーミング要求に対応しました。

32. Ver. 1.22 の主な新規追加機能について

32.1. 言語

下記の言語が使用できるようになりました。

- 繁体字中国語
- 韓国語

32.2. HPoE LLDP サポート (SNC-RH124/RS46N/RS46P/RS44N/RS44P)

IEEE802.3at に準拠した、LLDP(Link-Layer-Discovery-Protocol)による電力調整機能をサポートしました。

32.3. 映像・駆動系リフレッシュ機能

映像・駆動系リフレッシュ機能は、スリップリングの接触不良による画像の乱れを解消し、パン・チルト位置の初期化を行ないます。

33. Ver. 1.22 で変更／改善された機能について

33.1. プライバシーマスキングの改善

プライバシーマスクのリフレッシュレートを上げました。

33.2. ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ

ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフを用意しました。

詳細は、CGI マニュアルを参照してください。

33.3. 画像サイズの追加 (SNC-RH124/RH164)

システム-[設置タブ]の設定に関わらず、720x480、720x576 の画サイズが選択できるようになりました。

34. その他、機能について

34.1. Audio Upload Tool

Proxy Server が設定されている場合、Proxy Server によっては Audio Upload Tool が接続できません。ただし接続できない場合は、Proxy Server を使用しないで接続してください。

34.2. 動体検知

PTZ制御、プリセット移動中は、動体検知を停止させています。PTZ制御、プリセット移動完了後、しばらくたってから動体検知が再開します。

34.3. カメラ妨害検知のアラーム

動体検知が設定されていない場合、動体検知の検知領域を画面全体に設定してください。妨害検知が低下することがあります。

34.4. VMF

利用条件によっては、正しく検出できないことがあります。検出されることを実際の使用状況で十分に確認をおこなった上で本機能をご利用ください。

34.5. プリセット位置のサムネイル表示

ファームウェアのアップグレード時には、プリセット位置のサムネイル表示は引継がれません。

34.6. SSL

Windows VISTA または Windows 7 を使用し、SSL でアクセスする場合、Active X Viewer や動体検知画面が開けない場合があります。開けない場合は、以下の設定を行ってください。

1. ツール(T)から インターネットオプション(O)を開きます
2. セキュリティタブへ移動します
3. セキュリティレベル設定にて [信頼済みサイト]を選択します
4. [サイト(S)]ボタンをクリックします
5. [次の Web サイトをゾーンに追加する] にカメラのアドレスを入力します。必ずプロトコル (<https://>)を付加して下さい。
6. [OK]ボタンを押下し、設定を終了します

34.7. RTSP ストリーミング

RTSPストリーミングはパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

H.264/MPEGを使用する場合は、以下の通り

- ビデオ出力は、off
- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数は、2
- 接続ビットレートの合計は、4Mbps以下

JPEGを使用する場合は、以下の通り

- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数は、1
- フレームレート: 10fps以下
- 画質設定: Level 4以下
- 画サイズは、VGA以下

34.8. Edge Storage

Edge Storage を常時記録に設定している時に映像コーデックを変更すると記録が停止します。

Edge Storage 機能を使用する時は、Image Memory, FTP クライアントを使用しないでください。

- Image Memory: 共通タブの[記録機能]をオフ、アラームタブの[アラーム記録]をオフ、定期設定タブの[定期記録]をオフにしてください
- FTPクライアント: 共通タブの[FTPクライアント機能]をオフ、アラーム送信タブの[アラーム送信]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフにしてください

Edge Storage 機能を使用する時は、メールのファイル添付を使用しないでください。

- アラーム送信タブの[ファイル添付]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフ

Edge Storage 機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- ビデオ出力は、off
- ビデオコーデックは、映像2をオフ
- 画サイズは、VGA以下
- H.264/MPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ ビットレート設定: 2Mbps以下
 - ◇ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
 - ◇ フレームレート: 10fps以下
 - ◇ 画質設定: Level 4 以下

CF カードに保持可能な録画件数は、最大 500 です。上書き設定がオフの場合、エントリー数が500になった時点で新規の記録は停止します。上書き設定がオンの場合、エントリー数が500になると古いエントリーから上書きされます。

34.9. シャドウツアー設定

シャドウツアーの記録において、ツアーの実行中にはツアーの記録ができません。ツアーを一度停止(オフ)させた後で再度オンにすれば、記録できます。以下の手順で設定してください。

- Recordボタンでシャドウツアーの記録開始
- PTZ操作を行って、ツアーを記録する
- Stopボタンでシャドウツアーの記録完了
- Playボタンで記録したツアーの内容を確認

- OKボタンで確定

35. Ver. 1.30 で改善した問題点

35.1. PTZ 制御 I/F

パリティビットを even に設定したときに、パリティエラーが多発する問題がありました。

35.2. H.264 での画乱れ

ビデオコーデックにH.264を指定し、ActiveX Viewerで画像を表示していると、動きのある箇所の画像が乱れることがありましたので、修正いたしました。

(Ver. 1.1 からの問題)

36. Ver. 1.25 で改善した問題点

36.1. 時刻変更

時刻変更を行う際、変更前時刻から 50 分以内の修正を行うと、数秒後に元の時間に戻ってしまう問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

36.2. Edge Storage

音声を記録する設定で、ストリームの再生が出来ない場合がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

ビデオコーデックに JPEG を選択して、音声記録をオンにすると、正しく記録されないことがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

映像と音声を記録しているファイルを再生する際に、RTP/RTSP または RTP/RTSP/HTTP で接続すると、音声再生されず、2回目以降接続できなくなる問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

36.3. 工場出荷設定

カメラ本体のリセットスイッチから工場出荷設定した場合、初期化に6分以上かかってしまう問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

36.4. デイ/ナイト自動モード

カメラ設定のデイ/ナイトにおいて、モードを「自動」に設定した状態で電源を投入した際に、自動切換え動作が正常に行われない場合があった問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

36.5. プリセットツアー

プリセットツアー機能において、本機能を有効にした状態で電源を投入した際に、最初に登録したプリセット位置をスキップしてツアー動作を行ってしまう場合があった問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

37. Ver. 1.22 で改善した問題点

37.1. ストリーミング以外の静止画 (JPEG) の画質設定

メール、FTP クライアント、イメージメモリー機能で使用する静止画 (JPEG) の画質設定が固定になっていましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

37.2. MPEG-4 でのビットレート

ビデオコーデックに MPEG-4 を選択し低いビットレートを指定すると、指定のビットレートよりも高いストリームデータが送信されることがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

37.3. 動体検知領域

動体検知の検知領域が矩形でない時、設定の保存、読み出しを行った場合、検知領域が設定された通りに復帰しない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

37.4. RTSP

コーデックの設定を変更すると、RTSP/RTP/UDP のストリームが取得できない場合がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

RTSP の接続切断の繰り返しで、映像が出なくなる場合がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

JPEG の画像サイズが 280Kbyte を超えると映像が出ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

コーデックを切り替えながら RTSP の接続切断をすると、映像がでないことがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

37.5. プリセットツアー

プリセットツアーを開始する時の位置が、最初に移動する位置の場合、プリセットツアーが開始されない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

38. 既知の問題点について

38.1. IPv6 DHCPv6 について

IPv6環境で、DHCPv6サーバーとしてWindows Server 2008を使用している場合、IPアドレスを正しく割り当てられないことがあります。このような環境下では、IPv6ステートレスアドレス自動設定を使用してください。

38.2. Safari について

Safari4 または 5 にて Plug-in free viewer のストリーム方法にて JPEG を使用した場合は、メモリ使用量が増加し、Safari が異常停止することがあります。長時間の連続再生を行う場合は、ストリーム方法を JPEG Flash で使用するか、他のブラウザをご使用ください。

38.3. Edge Storage

推奨設定以上の設定で使用する場合、ストリームの再生が出来ない場合があります。

記録中に追いかけて再生を行うと、再生が記録に追いつく場合があります。その時は、再生が停止します。

映像と音声を記録しているファイルを再生する際、映像と音声の同期が取れない場合があります。

38.4. RTSP

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。

38.5. SNC video player

SNC video playerで再生するファイルが保存されているフォルダ名の最後の文字が数字である場合、正常に再生できない場合があります。その場合にはフォルダ名の最後の文字を数字以外にしてください。

38.6. Smartphone viewer での長時間再生

カメラのビデオコーデックにおいて大きな画像サイズが設定されている場合、長時間ビューアーを開いているとビューアーが停止することがあります。その際は再度ビューアーを起動し直してください。

38.7. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下

Xperia™ arc では、PTZ ボタンを複数個同時に押すとカメラの PTZ 動作が動き続けることがあります。動作を止めるには、押したボタンのいずれかを再度押し直してください。

38.8. バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox によるパノラマ画像の作成

Ver. 1.61 以降のファームウェアが搭載されたカメラは、バージョン 1.2.4.0 以前の SNC toolbox を使用してパノラマ画像を作成することができません。パノラマ画像を作成したい場合は、バージョン 1.2.5.0 以降の SNC toolbox をお使いください。

(SNC-RS46N/RS46P/RS44N/RS44P/RS86N/RS86P/RS84N/RS84P)

38.9. バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox によるファームウェアアップグレード

バージョン 1.2.5.0 の SNC toolbox においては、デフォルト値以外のユーザー名、パスワードの設定がファームウェアアップグレード後に保持されていない不具合が見つかりました。ファームウェアをアップグレードしたい場合は、バージョン 1.2.6.0 以降の SNC toolbox をお使いください。

38.10. プリセット移動後の動体検知停止に関して

動体検知を有効にしている場合でも、プリセット移動後の約 3 秒間は検知状態を通知しない仕様になっています。そのため、プリセットツアーにおいて同一ポジションを常に呼び出すような場合においても、呼び出し後、動体検知が停止しているようにふるまいます。